

尼崎市自発的活動支援事業

子どもの可能性をあきらめない

(ラピッド・プロンプティング・メソッド)

RPM講演会

実施日時：2024年5月15日(水) 10:00~12:00

場 所：尼崎市立中央北生涯学習プラザ 2F 学習室1

参加者：34名



一般社団法人

尼崎市手をつなぐ育成会

主催者：一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会 について

団体の概要

【設 立】 1959年(昭和34年)

【会員数】 372名

尼崎市内の知的障害や自閉症の子どもを持つ家族の会。

障害者福祉の充実や教育の向上に寄与することを会の目的とし、
権利擁護・保護者等への研修、啓発などの活動を行っている。

障害の有無に関わらず、すべての人がその人らしく暮らせる
「共生社会」を実現することを目指している

補助事業の目的について

実施目的

理解促進啓発・研修

知的・発達障害のある人は、自身の意思表出が難しい特性がある。他者とコミュニケーションをとる際に誤解が生じることも多い。支援者は常日頃から当事者を注意深く観察し、本人の気持ちに寄り添いながら思いを類推するが、汲み取るには相応のスキルやエネルギーが必要で、支援者の力量によって結果が左右されてしまいがちである。このRPMは障害当事者が、周囲に誤解されずに意志表出できるようトレーニングするメソッドで、米国では実践の成功事例が多数報告されている。日本でもこのメソッドの普及を図り、自らの意志を本人が正しく発信できる方法があることをたくさんの人に知ってもらい、一人でも多くの当事者が豊かな人生を送れるよう支援したい。

実施内容

補助事業の内容について

自閉スペクトラム症（ASD）や知的障害の特性の一つである「意思表示の困難さ」は、本人の意思を読み取る上で大きな障壁となっている。図らずも意志とは正反対のことを言ったり、選んだり、状況に適切でないと思われる言葉を発することなどがあるが、その行動には原因がある。

このメソッドでは中枢神経の指令伝達経路に何らかの原因があると考え、自らの意思を誤解なく正確に発信するには、相応のトレーニングを必要とする。文字盤等を使い、脳の指令と腕の動きの差異をなくしていく経験を重ねながら、最終的に自らの自由意志の表出を可能にする。また、身辺自立のためのトレーニングとは異なり、年齢相応の教科学習を取り入れ、誰しにも学ぶ力があることを前提にレッスンをを行うことから、本人の自己肯定感や自尊心も育まれ、いわゆる行動障害などの二次障害の防止にもつながっている。

アンケートより

とても興味深かった・・・12 興味深かった・・・0 普通・・・0
少し難しかった・・・0 難しかった・・・0

印象に残った言葉やフレーズ

- ・重度自閉症のお子さんの「寄付をしたい」「話せなくて困っている人がたくさんいると思う」という発信に衝撃を受けました。表出できないだけでいろいろな感情や思いがあることが分かり、自分の娘に対しても本当は案外分かっているかもしれないという気持ちに確信が持て、希望も湧きました。今後の関わり方に役立てていきたいと思います。有意義な講演をありがとうございました。
- ・本当は頭の中ではいろいろ理解できていること
- ・「潜在能力と可能性を信じて教える」

アンケートより

・救世主のようでした。「きっとこの子、分かってるよ!」と言い続けていた頃、「どこが?全然分かってないやん!」という言葉しか返ってこなかったですが、やっぱりわかってるんや・・・と思い、希望が持て、同時に本人の苦しみにはっきりと直面したようで胸が締め付けられそうにもなりました。言葉の一つ一つに感動し、感謝いたしました。病院やどこでも「こうだからこう、仕方ないんです・・・」じゃあどうしたらいいの?という不安、でも日常はどんどん進んでいく現実から解放されたようでした。これでいいの? 本当にこの子はこれを望んでるの?このままでいいの?というもやもやからも解放されました。本当に今日この場に参加させていただいたことが奇跡で感謝の気持ちでいっぱいです。

アンケートより

- ・本人のことを信じて、いつか分かってくれると思いながら育てています。RPMを取り入れて大きな成長を信じて私自身から学んでいきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・今日はありがとうございました。私にとってとても衝撃的な講演会でした。今までの考えが変わりました。私の息子も療育手帳Aでいろいろ理解するのはとても難しいと思っていました。息子に失礼なことしてました。RPMとても気になるので本を購入して勉強してみます。
- ・ご講話ありがとうございました。動画中心で視覚的に入ってくるので分かりやすかったです。

